

KSN 通信 VOL.116

明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

本年も皆様にご満足頂けるサービスを心がける所存でございますので、何卒昨年同様のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



■ 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、新年を迎えまして、本年も通年通り「干支の意味を考えながら」目指すべき将来や未来、あるべき姿について考えていきたいと思えます。

本年の干支は戌（つちのえ）、十二支が戌（いぬ）、戌戌（つちのえ・いぬ）です。戌の由来は、「滅（めつ）と書いてほろぶ」という意味で元来使われており、「草木が枯れる状態」を表しています。一方で、去年の酉は、「果実が極限まで熟した状態・酒熟して気の溢れる状態」を表しており、酉から戌への移り変わりには、「収穫を終え整地する」、我々でいえば事業や個々のプロジェクトが頂点まで極まり、その投資におけるリターンやプロフィットを得た上で、次の事業やプロジェクトに備えて、しっかりと準備する（企画立案や計画策定）時期と置き換えられます。日本的な感覚では、「秋から冬へ季節が変わる様子」と例えることもあり、この戌年に次に巡ってくる春（種蒔）夏（育成）秋（収穫）に備えて蓄えを施した上で、しっかりとした「仕込み（仕掛け）」を行う準備をすとも読めますね。また、一般的には戌のつく年は「安産祈願を行う戌の日」もあり、将来を担う新たな命が誕生してほしいと心より思う次第です。

弊社の事業活動も社会の構造的な変化に伴って多様化し、これに順応する質の高いソリューションが求められる中で、国内においては、株式会社レックスを中核として近畿圏における資源循環インフラとしての「ソリューション」の提供を行い、お客様より高い評価をいただいております。一方、海外においては、東南アジアの資源循環インフラとして2つのプロジェクトが立ち上がり検証を重ねた上で実稼働に至りました。

私共は、これらの取り組みを通じて蓄積された「企画力」「技術力」「現場力」を基盤に、常にお客様から信頼され続ける企業であるための新たなチャレンジに取り組んでいき、変化を恐れるのではなく、常に柔軟かつ慎重に、時には大胆に、行動できる会社でありたいと願っております。その上で、弊社の事業活動が社会経済活動から評価され、私共の「ソリューション」が社会に貢献できるよう、より成熟した企業へと成長するための基盤を創造していきたいと考えております。

最後になりましたが、皆様方のご多幸とご発展を心より祈念して、新年のご挨拶と代えさせていただきます。

株式会社 関西再資源ネットワーク
代表取締役 福田 裕司